

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称		第1回桶川市協働審議会
開催日時		令和6年3月5日（火） （開会）14時00分・（閉会）15時40分
開催場所		会議室401
主宰者の氏名		桶川市長 小野克典
議長の氏名		桶川市協働審議会 会長 佐藤徹
出席者氏名 （委員）		佐藤徹、三浦匡史、金田洋介、秋山節子、吉田奈々、 川村二郎、伊丹愛、木村尚之、臼田智子
欠席者氏名 （委員）		角裕司
説明員氏名		桶川祇園祭祭典委員会 加藤 ただし
事務局職員 職名及び氏名		自治振興課：課長・中野栄司、係長・宮崎大地、 主事補・関口莉穂
会 議 事 項	議 題	
		（1）令和5年度桶川市協働推進提案事業 事業報告 （2）今後の協働推進提案事業の取り組みについて
	決定事項等	
	〔決定事項〕	（1）子供みこし事業の事業報告書等を適切に処理し、委員にも 確認できるよう準備を進めていくこと （2）来年度事業応募がなかったため、再募集を含め対応を進める こと
配布資料		1 次第 2 第6期桶川市協働審議会委員名簿 3 桶川の「ぎおんまつり」 4 桶川市協働推進提案事業募集要項（令和6年度） 5 桶川市協働推進提案事業・相談一覧 6 桶川市協働推進提案事業一覧 7 近隣市町の協働事業について

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1 開会 ・ 配布資料の確認 ・ 会議の流れについて説明
団体	2 議題 (1) 令和 5 年度桶川市協働推進提案事業 事業報告 ①子どもみこし事業報告 令和 5 年 7 月に子どもみこし事業が実施できたこと、小学生低学年向けブックレット「桶川のぎおんまつり」が完成したことについて報告。完了報告等は未完成のため、後日提出となる。
委員	②質疑応答等 子どもみこしは自分も事業の様子を確認しに行った。実施できなかった期間があったが、良い事業であったと感じた。
委員	子供みこし事業はあくまで協働提案事業であり、祇園祭本体とは別の事業であることをもっとわかりやすく表記すべきであったと感じる。 また、市には子どもみこしの成果資料をしっかりと掲載するなどの対応は履行してもらいたい。
事務局	了解しました。
委員	(2) 今後の協働推進提案事業の取り組みについて 次年度事業の応募がなかったことは残念に感じる。近隣の上尾市でも提案型の協働事業を実施しており、私も関与しているが、そこでは各課の係長級の職員が協働を推進する立場となり、日々協働できるものがないか、事業提案ができないかを考えるなど、市全体で取り組んでいる。担当課職員にも事業プレゼンをしてもらうようすることを求め、庁内でも協働について協力体制が作れるようにしている。行政にも前例にとらわれず動く視点が求められていると思う。
委員	協働推進提案事業について、知らない市民もいると思うため、広報や HP などの周知方法を活用し、多くの市民へ認知してもらうことが必要だと思う。
委員	昨年度の審議会にて提案のためのエントリーシートを作ってはどうかと提案し、実際に作成しているとのことであるが、その割には市民からの提案、行政からの提案についても少な

会 議 録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	いように思う。
事務局	事業の募集期間を長くする、市民からの提案を常時受けられるような体制づくり等課題は多い。今後は行政からの事業提案の強化、令和６年度事業への対応等、事業を利用していただけのような仕組みづくりを進めていきたいと考える。 次の点について確認したい。
委員	自分は文化事業にかかわることが多いが、自分たちにとって協働事業は関係ない、と思っている団体が多いように感じており、残念に思う。行政からの働きかけが足りないのではないか。
委員	各担当課と自治振興課との横断的な繋がりや市民との協働の必要性について、市民団体等へ認識してもらうことなど、行政からの働きかけや、行政の熱量が必要と考える。
議長	桶川市の第六次総合振興計画を見ていくと、主要施策としても協働の位置付けはなく、桶川市としてのスタンスは後退しているようにも見えなくもない。あえて政策化していないということなのかもしれないが、市としてはどのように考えるか。
事務局	第六次総合振興計画における協働の取り扱いは、すべての政策にかかわる事項として掲げ、発展的な形で推進していく考えである。市としては協働推進提案事業を形骸化させないように引き続き取り組んでいく
委員	協働したいと考える方のために、協働推進提案事業を大事にしていくことが必要と考える。また、協働の在り方や運用の仕方、３年間の制約なども再検討したほうが良いのではないか。
事務局	いただいたご意見を踏まえ、今後検討していきたい。
事務局	３ その他 ・ 子供みこし事業については事業報告書等を適切に処理し、委員にも確認できるよう準備を進める。来年度事業の応募がなかったことについて、再募集を含め対応を検討する。

会 議 録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	4 閉会